

平成25年7月22日

近畿中国森林管理局

近畿中国森林管理局と独立行政法人森林総合研究所関西支所  
との森林・林業の再生に向けた協定の締結について

近畿中国森林管理局では、森林・林業基本計画(平成23年7月)や国有林野の管理経営基本計画(平成24年12月)等に基づき、民有林と連携した森林整備や森林・林業技術者の育成などに取り組んでいます。

一方、一般会計移行後の国有林野事業においては、産学官連携の下、民有林経営への普及を念頭にした林業の低コスト化に向けた技術開発に積極的に取り組み、地域の森林・林業の再生に貢献していくことが求められています。

このようなことから、今後近畿中国森林管理局では、近畿及び中国地域(2府12県)の森林・林業の再生に必要な課題解決に向けた研究と技術開発及び成果の普及と定着の円滑な促進を図るための協定を、独立行政法人森林総合研究所関西支所との間において締結し、これにより両機関の一層の連携強化を図り、連携して地域の森林・林業の再生に向けた各種取組を展開していくこととします。

問合せ先

近畿中国森林管理局 技術普及課

技術普及課長 多田(ただ)

企画官(民有林連携) 積(せき)

TEL 06-6881-3480、3524

(別紙)

近畿中国森林管理局と独立行政法人森林総合研究所  
関西支所との協定の締結式について

1. 日 時

平成25年8月1日(木) 15:30-16:00

2. 場 所

大阪市北区天満橋1丁目8番75号  
近畿中国森林管理局(2階) 局長室

3. 締結者

(1)独立行政法人森林総合研究所関西支所

支 所 長 吉永秀一郎

(2)近畿中国森林管理局

局 長 前川泰一郎

4. 内 容

協定締結式

- ・開会
- ・協定書の概要説明
- ・協定書の調印・取り交わし
- ・記念撮影
- ・協定締結者あいさつ

5. その他

協定締結式は、公開にて行います。

## 当該協定締結で今後期待される連携した取組について(事例)

1. 林業の持続的かつ健全な発展を図るためには、効率的かつ安定的な林業経営の育成、施業集約化等の推進、低コストで効率的な作業システム等の施策を推進していくことが必要です。

特に、低コストで効率的な作業システムの整備については、造林・保育コスト化に向けて、コンテナ苗の活用、疎植化などを進めるとともに、それらの普及を図るためのデータの収集・分析を進めていくなど、造林・保育の低コスト化の技術の確立と普及を図ることが求められています。

このため、今年度より3年間の予定として、近畿中国森林管理局と独立行政法人森林総合研究所関西支所が共同で「ヒノキ実生コンテナ苗による低コスト造林技術の開発」に取り組みます。

この開発研究によりヒノキコンテナ苗等の活用による低コスト化システムを開発し、国有林、民有林への同システムの普及と定着が期待されます。



コンテナ苗

2. 近年、近畿及び中国地域の多くの森林において、ニホンジカの食害により、林床植生の消失等の被害が顕在化し、森林生態系の維持や植栽木の生長が阻害されるなど、ニホンジカの食害対策が喫緊の課題となっています。

このため、今年度より3年間の予定として、近畿中国森林管理局と独立行政法人森林総合研究所関西支所が共同で「ヒノキ植栽地のシカ害評価及び対処技術法の開発」に取り組めます。

この開発研究により得られたシカ害評価に基づき、効果的なシカ被害対処技術を開発することにより、シカ被害対策に資することが期待されます。



捕獲されたニホンジカ